

貴学及び回答者ご自身について、お答えください。

大学名(学部、学科もご記入ください)

設置主体 (1つ選んで○をつけてください)

- ①国立 ②公立 ③私立

1. 貴大学における学部、学科の設置についてお答えください(1つ選んで○をつけてください)

- ①複数の学部をもつ ②1学部で複数の学科をもつ ③1学部、1学科である(単科大学)

2. 1学年学生定員についてお答えください

名

3. 回答者についてお答えください

- ①学長 ②学部長 ③学科長 ④教務委員長
⑤その他 (具体的に: _____)

I. 「超高齢社会に向けて、患者・家族の療養生活を支えるための保健医療福祉の支援のあり方」に関する、貴学における学習のねらいと機会、および実施方法についてお尋ねします。該当する項目に○をつけてください。

1. 「患者の在宅療養支援」に関する学習のねらいと機会についてお尋ねします。

1)平成23年3月に文部科学省から「大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会 最終報告」として出された答申において、「学士課程教育においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標」が策定されました。以下の項目はそのIV群。ケア環境とチーム体制整備に関する実践能力のうち、15)と17)の学習成果として示されたものです。

学習のねらいについて、貴学が重点をおいている程度をご回答ください。

3 : かなり重点をおいている、2 : ある程度重点をおいている 1 : あまり重点をおいていない、0 : わからない のうち、**最も近いものを1つだけ選択☑してください。**

	【学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標】	3 かなり	2 ある程度	1 あまり	わ か ら な い
	15)地域ケアの構築と看護機能の充実を図る能力				
	17)保健医療福祉における協働と連携をする能力 に挙げられている学習成果				
1	地域で活動する多様な集団やNPO などの組織、及びそれらの活動について理解できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	ケアのネットワーク、支援システムの構築の方法について理解できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	対象者に必要なケアについて、関連機関や支援者と連携・調整する方法について理解できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	地域の健康を促進し、管理する方法について理解できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	当事者グループの集団の特質や機能について理解できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標】 15)地域ケアの構築と看護機能の充実を図る能力 17)保健医療福祉における協働と連携をする能力 に挙げられている学習成果		3 かなり	2 ある程度	1 あまり	わからない
6	地域における組織や当事者グループを看護専門職者として育成し、支援する意義や方法について理解できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	地域における日常的な健康危機管理の重要性と看護の活動・役割について理解できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	チーム医療、保健医療福祉チーム員の機能と専門性、チーム医療の中での看護の役割について説明できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	チーム医療の中での責務として、情報の共有と守秘義務、対象者を中心とするチーム医療の構築方法について説明できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	チーム医療の中での、相互の尊重・連携・協働について説明できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	チーム医療の中で効果的な話し合いをするための方法について説明できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	在宅医療を推進するために、保健医療福祉機関の連携・協働を含めた看護の活動・役割について説明できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	ケアマネジメントやチームの連携方法について説明できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	継続看護、退院支援・退院調整など、地域の関連機関と協働関係を形成する看護援助方法について説明できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	病院、保健所、市町村保健センター、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、診療所、学校、職場などとの連携の必要性について説明できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16	同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとる必要性を理解し、指導の下で実践できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	チームの一員として、報告・連絡・相談の必要性を理解し、指導の下で実施できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2)「講義」「演習」に、非常勤・特別講師等で招いている方と主な依頼内容を教えてください。(複数回答可)
招いている方に☑をつけて、その方への主な依頼内容を具体的にご記入ください。

<input type="checkbox"/>	1. 医師	
<input type="checkbox"/>	2. 歯科医師	
<input type="checkbox"/>	3. 行政保健師	
<input type="checkbox"/>	4. 地域包括支援センター保健師	
<input type="checkbox"/>	5. 訪問看護ステーション看護師	
<input type="checkbox"/>	6. 専門看護師	
<input type="checkbox"/>	7. 認定看護師	
<input type="checkbox"/>	8. 退院調整室/地域連携室等の 看護師	
<input type="checkbox"/>	9. 介護福祉士	
<input type="checkbox"/>	10. 社会福祉士	
<input type="checkbox"/>	11. 精神保健福祉士	

<input type="checkbox"/>	12. 理学療法士	
<input type="checkbox"/>	13. 作業療法士	
<input type="checkbox"/>	14. 介護支援専門員（ケアマネージャー）	
<input type="checkbox"/>	15. 薬剤師	
<input type="checkbox"/>	16. 栄養士	
<input type="checkbox"/>	17. 生活相談員	
<input type="checkbox"/>	18. 患者・家族	
<input type="checkbox"/>	19. 在宅療養に関する業者	
<input type="checkbox"/>	20. その他 ()	
<input type="checkbox"/>	21. 誰も招いていない	

3) 学習形態としての「実習」についてお聞きします。

(1) 「実習」を行っている場をお答えください。(複数回答可)

1. 病院：地域連携室や退院調整室など 2. 病院：外来
3. 在宅主治医のいる診療所 4. 保健所 5. グループホーム
6. 訪問看護ステーション 7. 地域包括支援センター 8. 介護老人保健施設
9. 特別養護老人ホーム
10. その他 ()

(2) 「実習」において、教員の他に学生の指導にあたる方をお答えください。(複数回答可)

1. 医師 2. 歯科医師 3. 行政保健師
4. 地域包括支援センター保健師 5. 訪問看護ステーション看護師
6. 専門看護師 7. 認定看護師
8. 退院調整室・地域連携室等の看護師 9. 介護福祉士
10. 社会福祉士 11. 精神保健福祉士 12. 理学療法士
13. 作業療法士 14. 介護支援専門員（ケアマネージャー） 15. 薬剤師
16. 栄養士 17. 生活相談員 18. 患者・家族
19. 在宅療養に関する業者
20. その他 ()

4) この教育に携わる教員の構成についてお尋ねします。該当するほうを選択して下さい。

1. 地域看護学もしくは在宅看護学の教員だけで実施している
 2. 他の領域も協力・分担している

⇒「2. 他の領域も協力・分担している」を選択した方は、以下より関係する全ての領域に☑してください。

- 基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学
その他 ()

5) 教育を実施する上での課題等を自由にお書きください。

--

2. ここでは、特に「地域在宅支援における多職種間の協働連携」に関して、貴学における学習の機会についてお尋ねします。以下の選択肢より、該当する項目を選択してください。

1) 職種間連携の学習機会の有無についてお尋ねします

①学習機会を設けている⇒2)にお進みください ②設けていない⇒3)にお進みください

2) 協働連携の学習機会を設けている大学に、その方法をお尋ねします。該当する項目を☑選択し、具体的な工夫については自由記載欄にお書きください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 同大学の医系の他学科と共同で授業(講義・演習等)を行っている
<input type="checkbox"/> 他大学の医系の学科と共同で授業(講義・演習等)を行っている
<input type="checkbox"/> 実習で多職種間の協働連携の具体的な場面を見学する機会をつくっている
<input type="checkbox"/> 訪問看護に限らず、小児や精神など、さまざまな領域における協働連携について工夫している
<input type="checkbox"/> その他、協働連携の学習機会を作っている

3) 学習機会を設けていない大学に、その理由をお尋ねします(1つのみ選択)

①学士課程での学習の必要性を感じていない ②必要性を感じているが、実施が困難である

⇒②を選択した方は、その理由を具体的にお教えてください。

II. 学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標で、以下の学習内容が示されました。貴学で授業(講義・演習・実習)に含んでいる内容に○をつけてください。(複数回答可)。

学習内容	1 含まれている	2 含まれていない
チーム医療		
保健医療福祉チーム員の専門性と相互の尊重		
チームのなかでの看護専門職の役割		
リーダーシップ		
カンファレンスの運営方法		
情報の共有		
継続看護		
在宅医療と社会制度		
在宅医療推進と看護活動		
保健医療福祉機関の連携・協働		
ケアマネジメント		
家族を含めた対象者中心の連携		
退院支援・退院調整		
地域包括支援センターとの連携		
訪問看護ステーションとの連携		
地域保健・産業保健・学校保健との連携		
個人・グループ・機関との調整		
ケアネットワークづくり		
支援システムの構築		
地域組織活動		
地域ケアの体制づくり		

III. 超高齢社会に向けた地域在宅における患者と家族の療養生活を支えるための教育に関する現状、今後の展望や課題について自由にお書きください

1. 貴大学では、超高齢社会に向けた地域在宅における患者と家族の療養生活を支えるための教育として、どのような取り組みをしていますか？どのようなことでも結構です。ご自由にお書きください。

2. 超高齢社会に向けた地域在宅における患者と家族の療養生活を支えるための教育において、貴大学において学生は具体的にどのような体験をしていますか。例えば、認知症患者へのケア、看取りなど(そのほかのことでも具体的にお教えください)について、学生が体験していることをお教えください。体験の内容に合わせて、体験の形態(たとえば、学内での演習、シミュレーション、模擬患者、実習で、など)についても詳しくお教えください。

3. 超高齢社会に向けた地域在宅における患者と家族の療養生活を支えるための教育として、貴大学でお考えになっているビジョン、課題と考えていることを自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。